

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 県民大会に7万人「知事の遺志継ぐ」



「美ら海に基地は造らせない。沖縄の地方自治、日本の平和と民主主義を守る」と決議

「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求め8・11県民大会」が11日、那覇市内で開かれ7万人が参加。8日に急逝した翁長雄志知事を悼み参加者が黙とうを捧げ、新基地建設阻止をかけた知事の思いを受け継ぐことを確認しました。県知事職務代理者の謝花喜一郎副知事は「辺野古に新基地は造らせない」という翁長知事の強く熱い思いを受け止め、しっかりと毅然と判断していく」と「撤回」に向けた手続きを進める姿勢を示しました。オール沖縄会議の高良鉄美共同代表、城間幹子那覇市長、金城徹にぬふあーぶし共同代表、山城敦子金秀興産社長などが「翁長知事の遺志を受け継ぎ、新基地建設を阻止しよう」と訴えました。大会決議で「辺野古・大浦湾の美ら海に新たな基地は造らせない。県民の命とくらし、地方自治と民主主義・平和を守るためにこの不条理に全力で抗いつづける」と宣言。稲嶺進前名護市長が閉会挨拶をしました。(写真協力・中村重一氏)



「ウチナーンチュウが心一つに闘うときはるかに大きな力に」

翁長知事の次男・雄治（たけはる・那覇市議）写真）氏が「父は生前、『沖縄は試練の連続だ。しかし、ウチナーンチュウの誇りを捨てることなく闘い続けてきた。ウチナーンチュウが心一つして闘うとき想像するよりもはるかに大きな力になる』と何度も何度も言っていた」と知事の遺言を伝えました。



壇上に知事の椅子と帽子が置かれました。

## 平泉9条の会「沖縄学習会」中に訃報 参加者全員で黙とうを捧げ連帯を誓う



岩手県平泉9条の会は8日夜、名護共同センターの早坂義郎氏を講師に「辺野古新基地反対のたまたかい現在・過去・未来」と題して学習会を開催、約50人が参加しました（写真）。なんとその学習会中に翁長知事の訃報が入り、参加者から驚きの悲鳴が上がりました。学習会終了後、全員で黙とうを捧げ、正念場を迎えた沖縄の新基地建設反対のたまたかいへの連帯と知事選への支援を強めることを誓い合いました。滝沢市から2時間かけて参加した高屋敷ヒヅ子さんは「翁長さんとは残念です。学習会はとても感動しました。今度は盛岡市でも開き、沖縄への連帯を広げたいです」と話していました。

**知事選の日程が確定！**

**9月13日（木）告示**

**9月30日（日）投票です。**

知事選・宜野湾市長選勝利にむけ、前哨戦となる地方議員選挙でオール沖縄の前進めざして奮闘しましょう。